

インテリジェント内視鏡医療エコシステム

インテリジェント内視鏡医療エコシステム

内視鏡医療をリードするメドテックカンパニーとして、オリンパスはデジタル技術を活用することによって、患者さんやお客様のために、インテリジェント内視鏡医療エコシステムを構築し、ヘルスケアにおける4つの目的を達成していきます。

ヘルスケアの課題解決に向けた独自性の追求

慢性疾患の増加と高齢化の進展を受け、医療現場ではより良い治療成果をより多くの人に届けると同時に、医療従事者と患者さんのエクスペリエンスを向上、さらに医療コストを抑えるという課題に直面しています。

内視鏡医療における多くのニーズは長い間変わっていません。例えば、患者さんの命を救う手技を行う消化器科医は常に臨床成果の改善を目指していますが、手技の増加や事務作業の増加による負担が増大しています。また、医療現場では深刻な人手不足が課題となっており、対策が求められています。

私たちはこのような課題に対して、デジタル化とオートメーションを活用したインテリジェント内視鏡医療によって、大幅な

進歩が見込めると考えています。AIを活用したデータやコネクティビティにより、インテリジェントインサイト(人工知能によるサポート等)が可能となり、臨床や病院内での業務のニーズに対応できるようになります。

オリンパス独自の能力をさらに高め、先進イメージングはインテリジェント認知サポートに、精密な治療はインテリジェントガイド下での治療に、そして高付加価値ソリューションではインテリジェントインサイトとソリューションへと進化をもたらします。

医療従事者がより多くのケアを必要とする患者さんの治療に集中できるよう、オリンパスはインテリジェント内視鏡医療エコシステムを構築していきます。

先進のソフトウェアプラットフォームとビジネスモデルで実現するインテリジェント内視鏡医療エコシステム

現在、オリンパスは自社の強みを活かした高付加価値の内視鏡製品とサービスを提供していますが、データとAIによりポートフォリオを統合することで、提供する価値をさらに高めることができると考えています。

最先端のソフトウェアプラットフォームによって実現する当社の高度なインテリジェント内視鏡医療エコシステムは、臨床や病院内の業務のニーズを満たし、臨床医や病院管理者による患者さんのケアの水準を向上します。AIを含む最新のコアテクノロジーにより、患者さんのケア・パスウェイ全体にわたって、データから実用的な洞察や効率的で最適なアウトカムを提供します。また、製品のアップグレードサイクルの長期化につながる、単なる「物売り」のビジネスモデルから脱却し、当社のプラットフォームのソフトウェアやアプリケーションのアップグレードによって、常にイノベーションを提供し続けるビジネスモデルに移行します。これにより、患者さんや医療従事者もより精度の高い

早期発見、診断、治療といった恩恵を得ることができます。

データに基づく自動化されたワークフローソリューションにより、人的要因のリスクを軽減し、効率性を向上するとともに患者さんの安全を確保します。また、容易で拡張性のあるトレーニングを提供し、精神的負担を軽減することにより医療従事者の維持と確保にも貢献します。

さらに、管理業務の自動化は非臨床においてもメリットがあり、データに基づく在庫管理、設備投資の最適化、透明性のある資産管理等、より効率的なソリューションが考えられます。オリンパスはデータを収集し、活用することで、顧客に内視鏡医療に関する洞察を提供できる強固なポジションを確立しています。

インテリジェント内視鏡医療エコシステムは、オリンパスの内視鏡の幅広いポートフォリオの可能性を高め、相乗的な価値を最大限に実現します。

